



コミュニティ・スクール通信

よつば小
HP

令和6年11月11日(月)に、第2回学校運営協議会を開催しました。

テーマ1 校内教育支援センターの現状について

令和6年4月に魚津市内の全小学校でスタートした校内教育支援センターについて、その運営の仕組みや児童が活動する環境、利用状況等、校長より概況説明を行いました。誰一人取り残さない学びの場の保障に向けた不登校対策として、学校の環境整備や支援体制の充実が求められており、今後も現状を踏まえた改善に向けてご意見を伺いながら進めていきたいと思っております。

テーマ2 学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進について

これまでも学校は、地域関係団体の支援を受け、互いに連携しながら、子供たちの豊かな心を育むための体験活動を実施していましたが、今後、それらの活動の意義や運営の仕組み等についての理解を広め、さらに一体的に進めていくことができるよう、共通理解を図りました。

★地域学校協働活動エピソード ①★ 11月6日(水)友愛訪問

4地区の社会福祉協議会の皆様、民生委員・児童委員の皆様、見守り隊の皆様、魚津警察署関係課の皆様にも多大なるお力添えいただき、3年生の子供たちが地区の一人暮らしの高齢者の方のお宅を訪問し交流する「友愛訪問」を行いました。

秋晴れの下、子供たちは地区ごとに数名ずつのグループに分かれ、各団体の方と共に一人暮らしの高齢者宅を訪問させていただきました。子供たち一人一人が、図画工作の時間に作ったメッセージカードをプレゼントとして渡したり、防犯を呼びかけたりしました。高齢者の方が喜んでくださったことや会ってお話ができただけで、どの子どもとても嬉しそうでした。弾むように学校に帰ってきた子供たちの幸せそうな笑顔から、とても素敵な時間を過ごしてきたことが伝わってきました。活動を計画し、運営してくださった皆様、ありがとうございました。



★地域学校協働活動エピソード ②★ よつば小見守り隊の皆様、ありがとうございます

ついに校庭に雪が積もりました。見守り隊のKさんが子供たちを喜ばせようとかわいい雪だるまを作って門の上に乗せてくださいました。もちろん、子供たちは大喜び。「自分も」と次々と雪だるまを作ってはKさんの雪だるまの横に並べます。何とも微笑ましい光景です。「今年もよつば小にほっこりと温かい冬が来た！」と実感する朝となりました。



また、長きにわたって見守り隊をしてくださっているある方とお話しする機会がありました。その方は穏やかな笑顔でこう話されました。「なかなか声に出して挨拶をすることができない子もいるけれど、その子の名前を呼んで挨拶をすると『おはようございます』と挨拶が返ってくるんだよ。それから、6年生が卒業したあとに『ありがとうございました。』とお礼を言ってくれたときは嬉しかったね。」と。

さらには、中央通り商店街で、横断歩道を渡ってきた子の手を取り、膝をかがめて目線を合わせて「おはよう」と声をかける見守り隊の方と子供との光景がとても微笑ましいと、車で通りがかった方から学校へお電話をいただいたこともあります。

よつばっ子たちは、地域の中で、大切に育まれています。

